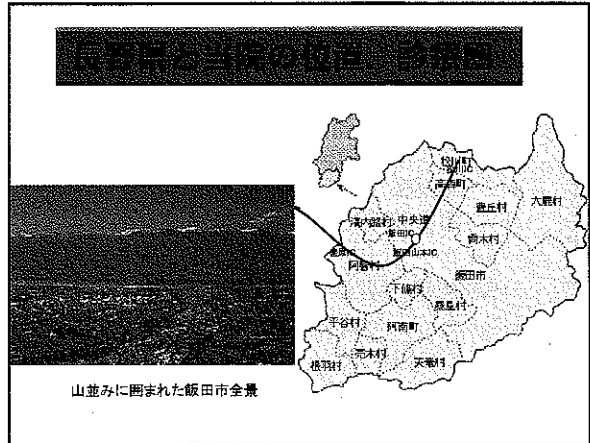


## 飯田市立病院の概要



診療開始	昭和26年12月3日
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、糖尿病代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳癌外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科 31科
面積	敷地 66,419 m <sup>2</sup> 本館延べ 25,803 m <sup>2</sup>
病床数	407床 (一般403床 感染症 4床)
職員数	正規職員 503名 医師 87名(初期研修医 14名、後期研修医 5名) 臨時職員 176名 計 679名(平成20年11月1日現在)



### 飯田・下伊那診療圏の概要

市町村	人口	面積
飯田市	107,259	659
松川町	13,908	73
高森町	13,206	45
清内路村	746	44
阿智村	6,556	170
善太村	6,788	67
豊丘村	6,957	77
大蔵村	1,287	248
阿南町	5,795	123
平谷村	663	77
根羽村	1,193	90
下鏡村	4,237	38
赤木村	713	44
天龍村	1,898	109
泰阜村	1,992	65
合計	173,178	1,929

飯田・下伊那診療圏は香川県(1,876km<sup>2</sup>)と同程度の面積を有します

平成19年10月1日現在

### 病院の外観

飯田市のランドマークとしての高い位置付け


中央道からの高速アクセス

清潔な環境提供

患者アメニティの充実


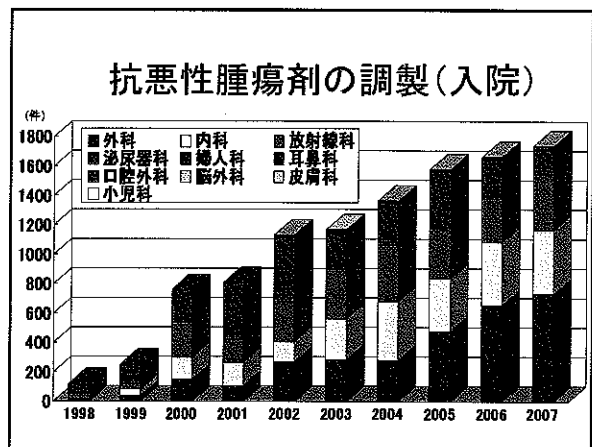
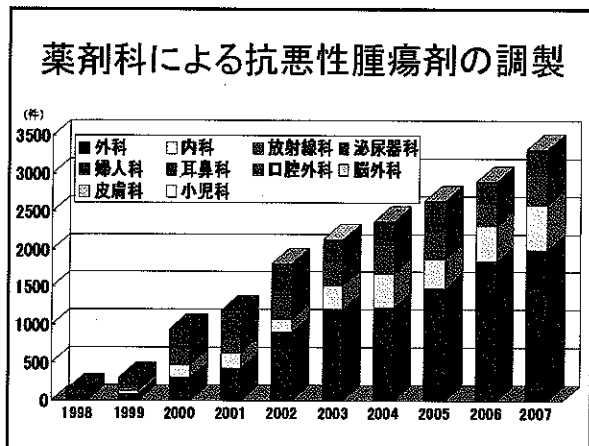
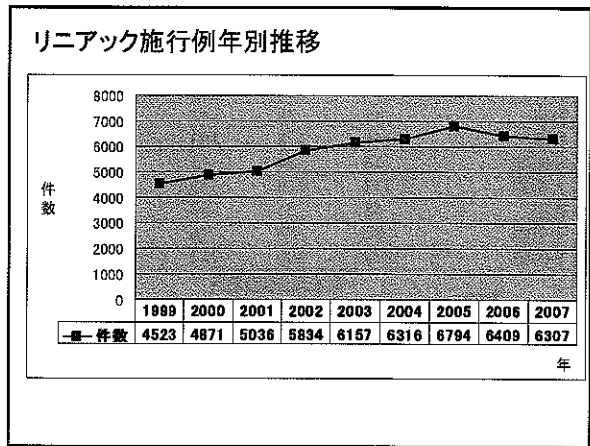
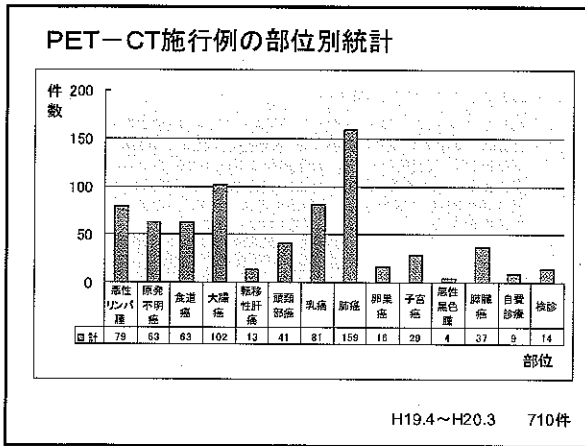
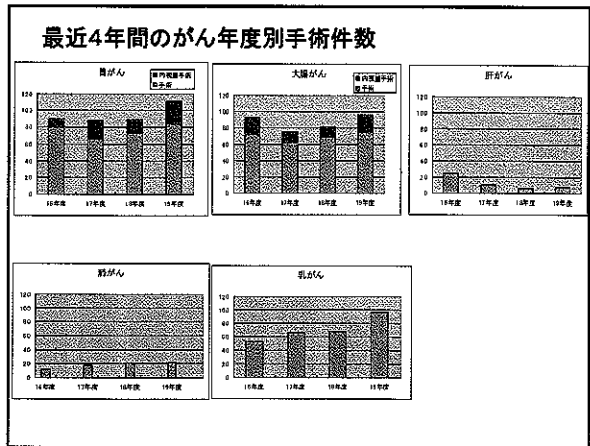
昭和26年12月	飯田市立病院開院
平成4年10月	新病院新築移転 354床 放射線治療開始
平成9年1月	災害拠点病院指定
3月	エイズ拠点病院指定
平成10年3月	6階業病棟増築、外来棟増築 403床
9月	検査手術棟増築竣工
平成11年6月	リハビリ棟増築
平成12年8月	ヘリポート竣工
平成14年3月	救急治療室増築
10月	外来化学療法室設置
平成16年2月	電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
平成18年3月	リニアック更新
7月	PET-CT導入
10月	新型救命救急センター指定
平成19年1月	がん診療連携拠点病院指定

- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 臨床研修指定病院
- 災害拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 新型救命救急センター
- 地域周産期母子医療センター
- 長野県心疾患基幹病院
- (財)日本医療機能評価機構認定更新



**ラルストロン**  
2009年1月より入替で  
4月稼働予定  
コバルト60と192Ir  
(イリジウム)選択型

**リニアック**  
平成18年3月更新 東芝Vitalシステム  
ONCOR Impression(シーメンス社)  
2種類のX線(4.10MV)  
6種類の電子線  
(5.7.10.12.14.15MeV)

## 院内がん登録について

信州大学の協力を得て登録を実施しており、主要5大がんについては、がん登録システム(CRMS:信大医学部と同じシステム)により、登録を行っています。診療情報管理士を2名配置し、うち1名は厚生労働省(国立がんセンター)の「院内がん登録実務研修(2年間)」に参加させており、来年度修了予定です。

### 中央病歴管理室



## 相談支援センターについて

総合案内横の医療福祉相談室(医療福祉係)に相談窓口を設け、がんに関する相談を受け付けています。相談室には相談員基礎研修会(2)までを修了したMSW2名と看護師1名を配置し、窓口、電話等により、病棟における治療相談や在宅医療、医療費等についての相談を行っています。

月～金曜日  
8:30～17:30  
0265-21-255(内)2191



## 地域がん診療連携拠点病院の指定に向けた 一層の整備の状況について

### 1. 病院をあげてがん診療に取り組めるよう、各診療科の均てん化を進めるとともに、院内での連携強化を図ります。

状況：がん診療の均てん化を図るため、合同カンファレンス(肺癌、消化器病、外科手術症例、泌尿器科・放射線科、産婦人科)を週1～2回の頻度で定期開催し、診療科を越えた病院全体の連携を取組んでいます。

研修の面では、緩和ケア学習会を毎月1回(第1月曜日)定期開催し、さらに全院的規模での緩和医療講演会を7月に、がんの連携バスに関する講演会を11月に開催し、診療部や看護部における連携強化を図っています。さらに、他院の医療従事者も対象にした講演会、研修会も随時開催しています。

他のがん診療連携拠点病院が主催する緩和ケア研修会にも参加し、その際には、医師だけではなく、他の職種の職員も積極的に参加しています。施設認定においても、がん診療に積極的に取り組むという病院全体の総意と総力により、平成19年11月には日本がん治療認定医機構の認定研修施設認定を、平成20年4月には日本臨床腫瘍学会の認定研修施設認定を取得しました。

### 2. 緩和ケアについては、実践を重視した取組方針を定め、コンサルテーションを積極的にを行います。

状況：現在緩和ケアチームとして、医師9名(うち他院からの派遣精神科医1名)・看護師2名(うち緩和ケア認定看護師1名)・薬剤師2名・理学療法士1名・管理栄養士1名・MSW1名・事務担当1名の計17名で活動をしています。

患者・家族からの希望、または主治医・受け持ち看護師からの依頼に基づき、患者・家族へのコンサルテーションを行っています。4月から現在まで、90名の依頼があり、月に10名前後の患者について、コンサルテーションを行っています。主な活動として、緩和ケアチームメンバーそれぞれが適宜回診を行い、週1回のカンファレンス等でケアの検討をしています。緩和ケアチームで検討したこと、回診時に気づいたことを主治医・受け持ち看護師に返し、患者・家族への緩和ケアの質の向上を図っています。

### 3. 院内がん登録について、さらなる整備を進めています。

状況：院内がん登録については、信州大学の協力を得て登録を実施しており、主要5大がんについて、がん登録システム(CRMS:信大医学部と同じシステム)により、登録を行っています。診療情報管理士を2名配置し、うち1名は厚生労働省(国立がんセンター)の「院内がん登録実務研修(2年間)」に参加させており、来年度修了予定です。

### 4. 相談支援体制の充実を図ります。

状況：総合案内横の医療福祉相談室(医療福祉係)に相談窓口を設け、がんに関する相談を受け付けています。相談室には相談員基礎研修会(2)までを修了したMSW2名と看護師1名を配置し、窓口、電話等により、病棟における治療相談や在宅治療、医療費等についての相談を行っています。また、相談員の最低1名は、平成21年度までに研修会(3)を受講する計画となっています。


### 5. 南信地区の拠点であることを踏まえ、将来的には白血病治療に対応できるよう努めます。

状況：血液外来は、毎週1回(木曜日)に信大からの派遣医師により診察を行っていますが、常勤の血液内科の医師が配置できるよう、信大医学部に働きかけるとともに、病院としても、血液内科専門の医師の採用募集を行っています。

### 6. 定期的に実績評価を行い、診療機能の充実に反映させていきます。


状況：地域における拠点病院として実績の積み上げを行い、院内にがん診療連携拠点病院運営委員会を設置して、検討をしています。

## 飯田市立病院の概要

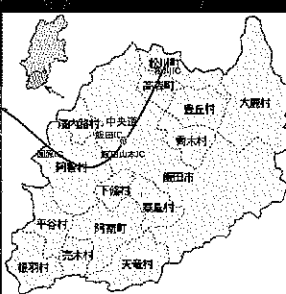


診療開始	昭和26年12月3日
診療科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、糖尿病代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、産科、歯科口腔外科、麻酔科、31科
面積	敷地 66,419 m <sup>2</sup> 本館延べ 25,803 m <sup>2</sup>
病床数	407床 (一般403床 感染症 4床)
職員数	正規職員 503名 医師 87名 (研修医 14名、後期研修医 5名) 臨時職員 176名 計 679名 (平成20年11月1日現在)

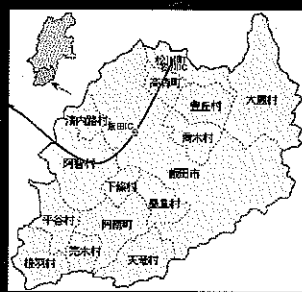
## 長野県と当院の位置 診療圏



山並みに囲まれた飯田市全景



## 飯田・下伊那診療圏のご紹介



市町村	人口	面積
飯田市	107,259	659
松川町	13,908	73
高森町	13,206	45
清内路村	746	44
阿智村	6,556	170
善木村	6,788	67
豊丘村	6,957	77
大鹿村	1,287	248
阿南町	5,795	123
平谷村	663	77
根羽村	1,193	90
下條村	4,297	38
売木村	713	44
天龍村	1,898	109
豊島村	1,992	85
合計	173,178	1,929

飯田・下伊那診療圏は香川県(1,876km<sup>2</sup>)と同程度の面積を有します

## 病院の外観



中央道からの高選アクセス



飯田市のランドマークとしての高い位置付け



患者アメニティの充実



清潔な環境提供

昭和26年12月	飯田市立病院開院
平成4年10月	新病院新築移転 354床 放射線治療開始
平成9年1月	災害拠点病院指定
3月	エイズ拠点病院指定
平成10年3月	6階東棟増築、外ホ棟増築 403床
9月	検査手術棟増築竣工
平成11年6月	リハビリ棟増築
平成12年8月	ヘリポート竣工
平成14年3月	救急治療室増改築
10月	外来化学療法室設置
平成16年2月	電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
平成18年3月	リニアック更新
7月	PET-CT導入
10月	新型救命救急センター指定
平成19年1月	がん診療連携拠点病院指定

地域がん診療連携拠点病院

地域医療支援病院

臨床研修指定病院

災害拠点病院

エイズ治療拠点病院

新型救命救急センター

地域周産期母子医療センター

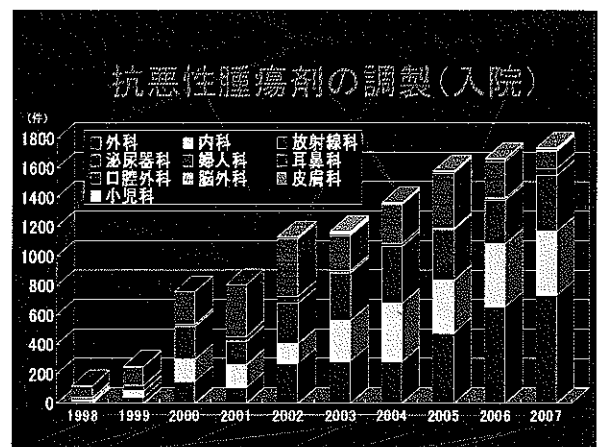
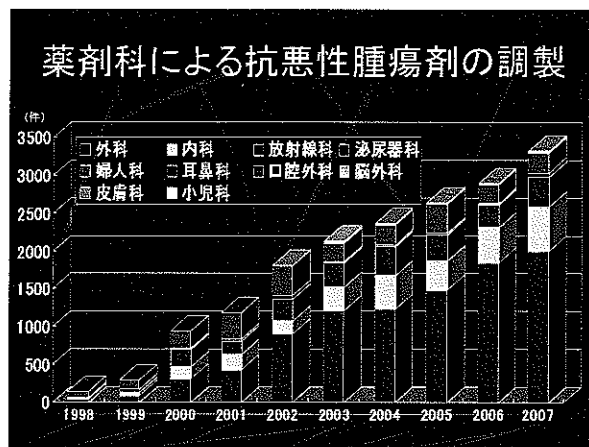
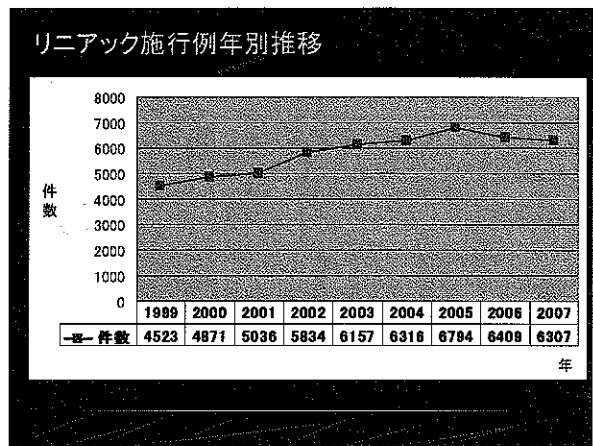
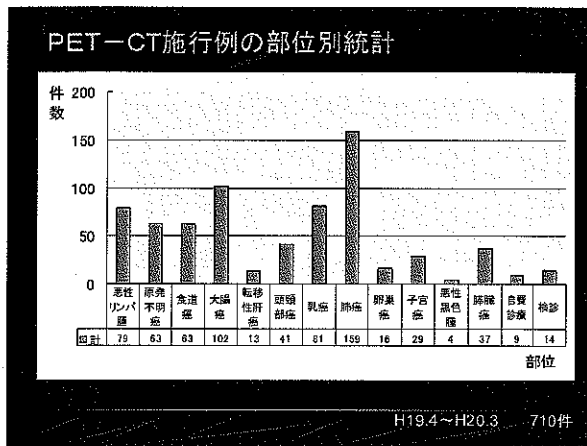
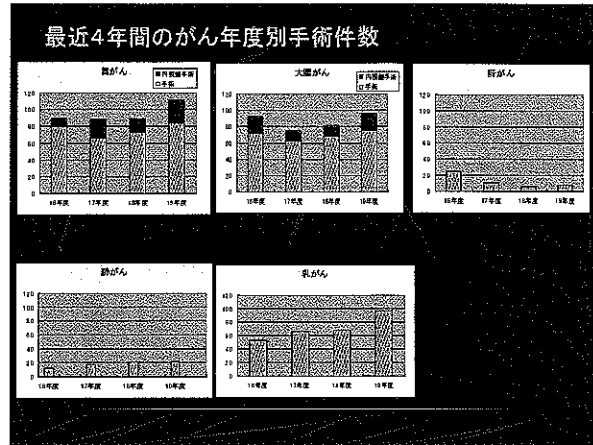
長野県心疾患基幹病院

(財)日本医療機能評価機構認定更新



**ラルストロン**  
 2009年1月より入替で  
 4月稼働予定  
 コバルト60と192Ir  
 (イリジウム)選択型

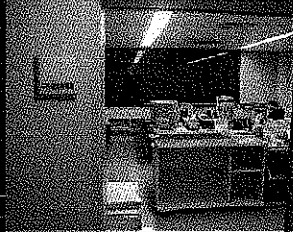
**リニアック**  
 平成18年3月更新 東芝行'カルシステム  
 ONCOR Impression(シーメンス社)  
 2種類のX線(4.10MV)  
 6種類の電子線  
 (5.7.10.12.14.15MeV)



## 院内がん登録について

信州大学の協力を得て登録を実施しており、主要5大がんについては、がん登録システム(CRMS:信大医学部と同じシステム)により、登録を行っています。診療情報管理士を2名配置し、うち1名は厚生労働省(国立がんセンター)の「院内がん登録実務研修(2年間)」に参加させており、来年度修了予定です。

中央病歴管理室



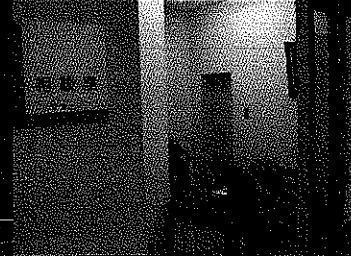
## 相談支援センターについて

総合案内横の医療福祉相談室(医療福祉係)に相談窓口を設け、がんに関する相談を受け付けています。相談室には相談員基礎研修会(2)までを修了したMSW2名と看護師1名を配置し、窓口、電話等により、病棟における治療相談や在宅医療、医療費等についての相談を行っています。

月～金曜日

8:30～17:30

0265-21-255(内)2191



## 地域がん診療連携拠点病院の指定に向けた 一層の整備の状況について

1. 病院をあげてがん診療に取り組めるよう、各診療科の均てん化を進めるとともに、院内での連携強化を図ります。

状況：がん診療の均てん化を図るため、合同カンファレンス(肺癌、消化器病、外科手術症例、泌尿器科・放射線科、産婦人科)を週1～2回の頻度で定期開催し、診療科を越えた病院全体の連携に取り組んでいます。

研修の面では、緩和ケア学習会を毎月1回(第1月曜日)定期開催し、さらに全院的規模での緩和医療講演会を7月に、がんの連携バスに関する講演会を11月に開催し、診療科や看護部における連携強化を図っています。さらに、他院の医療従事者も対象にした講演会、研修会も随時開催しています。

他のがん診療連携拠点病院が主催する緩和ケア研修会にも参加し、その際には、医師だけではなく、他の職種の職員も積極的に参加しています。施設認定においても、がん診療に積極的に取り組むという病院全体の総意と総力により、平成19年11月には日本がん治療認定医機構の認定研修施設認定を、平成20年4月には日本臨床腫瘍学会の認定研修施設認定を取得しました。

2. 緩和ケアについては、実践を重視した取組方針を定め、コンサルテーションを積極的にを行います。

状況：現在緩和ケアチームとして、医師9名(うち他院からの派遣精神科医1名)・看護師2名(うち緩和ケア認定看護師1名)・薬剤師2名・理学療法士1名・管理栄養士1名・MSW1名・事務担当1名の計17名で活動をしています。

患者・家族からの希望、または主治医・受け持ち看護師からの依頼に基づき、患者・家族へのコンサルテーションを行っています。4月から現在まで、90名の依頼があり、月に10名前後の患者について、コンサルテーションを行っています。主な活動として、緩和ケアチームメンバーそれぞれが適宜回診を行い、週1回のカンファレンス等でケアの検討をしています。緩和ケアチームで検討したこと、回診時に気づいたことを主治医・受け持ち看護師に返し、患者・家族への緩和ケアの質の向上を図っています。

3. 院内がん登録について、さらなる整備を進めていきます。

状況：院内がん登録については、信州大学の協力を得て登録を実施しており、主要5大がんについて、がん登録システム(CRMS:信大医学部と同じシステム)により、登録を行っています。診療情報管理士を2名配置し、うち1名は厚生労働省(国立がんセンター)の「院内がん登録実務研修(2年間)」に参加させており、来年度修了予定です。

4. 相談支援体制の充実を図ります。

状況：総合案内横の医療福祉相談室(医療福祉係)に相談窓口を設け、がんに関する相談を受け付けています。相談室には相談員基礎研修会(2)までを修了したMSW2名と看護師1名を配置し、窓口、電話等により、病棟における治療相談や在宅治療、医療費等についての相談を行っています。また、相談員の最低1名は、平成21年度までに研修会(3)を受講する計画となっています。

5. 南信地区の拠点であることを踏まえ、将来的には白血病治療に対応できるよう努めます。

状況：血液外来は、毎週1回(木曜日)に信大からの派遣医師により診察を行っていますが、常勤の血液内科の医師が配置できるよう、信大医学部に働きかけるとともに、病院としても、血液内科専門の医師の採用募集を行っています。

6. 定期的に実績評価を行い、診療機能の充実に反映させていきます。

状況：地域における拠点病院として実績の積み上げを行い、院内にがん診療連携拠点病院運営委員会を設置して、検討をしています。